

平成17年度開催シンポジウム						
開催年月日	タイトル	HPのURL	内 容	主催	実施場所	参加人数
1 2005/3/16	九州シンクロtron光研究センターにおけるタンパク質結晶構造解析	http://www.saga-ls.jp/seminar/kaisajisseki.html	前半部で、タンパク質のX線結晶構造解析に関する研究成果について九州の研究者5名による講演。シンクロtron光施設見学会。後半部で、九州シンクロtron光研究センターの現状とタンパク質結晶構造解析における長波長X線利用について3名の講演。今後のセンターにおけるタンパク質結晶構造解析について討論。	九州シンクロtron光研究センター利用推進協議会 / 生体分子構造研究会	佐賀県立九州シンクロtron光研究センター2階セミナー室	70名
2 2005/3/27	第一回海洋工学シンポジウム2006	http://www.ioes.saga-u.ac.jp/	特別講演を含んで11件の海洋エネルギーに関する講演を行った。	佐賀大学海洋エネルギー研究センター	佐賀大学海洋エネルギー研究センター伊万里サテライト	60名
3 2005/4/1	電気化学会第72回大会シンポジウム「ナノスペースにおける溶液の構造とダイナミクス」	http://www.electrochem.jp/program/2005spring/2005spring.html	カーボンアエロゲル、粘土、生体分子などナノ空間における溶液の構造とそのダイナミクスは、現在様々な分野で注目を集めている。本シンポジウムでは実験・理論の両面における最新の成果を持ち寄り討論を行った。特別講演1件、依頼講演9件および一般講演8件で構成した。	電気化学会 溶液化学委員会	熊本大学工学部	50名
4 2005/4/16	特別講演会「食と健康に関するアプローチ」	http://www.ag.saga-u.ac.jp/eishoku-west/	日本栄養・食糧学会西日本支部との共催で開催した。主に食事と健康をテーマに3講演「食品成分の脂質代謝に関する栄養学的研究」古場一哲先生(長崎シーボルト大学・助教授)、「食育推進の背景と経緯」早淵仁美先生(福岡女子大学・教授)、「遺伝子改変ウサギを用いた生活習慣病の研究」渡辺照男先生(佐賀大学・副学長)をお願いした。	佐賀大学、日本栄養・食糧学会西日本支部(支部長柳田晃良)	佐賀大学理工学部7号館DC棟	150名
5 2005/5/23	Joint Seminar between Saga University Synchrotron Light Application Center and State Key Lab of Metal Matrix Composites Shanghai Jiaotong University	http://www.slc.saga-u.ac.jp/	佐賀大学シンクロtron光応用研究センター上海支部の活動報告、上海交通大学複合材料研究所の活動報告、佐賀県立九州シンクロtron光研究センターの現状報告など	佐賀大学シンクロtron光応用研究センター	VBL3階セミナー室	
6 2005/5/24	平成16年度低平地研究会活動報告会	http://www.ilt.saga-u.ac.jp/	権藤幸彦会長による開会挨拶の後、九州大学理学研究院下山正一博士による「福岡県西方沖地震による地盤災害について～福岡市の震災を例にして～」と題して講演していただいた。その後低平地研究会各分会長による活動報告を行い、16年度活動に関する総括がなされた。	低平地研究会、佐賀大学低平地研究センター	佐賀大学本庄キャンパス6号館DC棟2階多目的セミナー室	84名
7 2005/6/10	第1回佐賀産後うつ病懇話会	なし	産後うつ病を患った産婦人科医、小児科医、助産師、看護師、保健師と精神科医を対象として、産後うつ病のスクリーニング、診断および治療についての演題発表と特別講演を開催した。	佐賀大学医学部精神科、産婦人科、小児科	マリトピア	187名
8 2005/6/23	九州表面薄膜研究会		九州地域の各大学から表面薄膜分野の研究者が一同に会して、最新の研究成果を報告した	佐賀大学シンクロtron光応用研究センター	九州シンクロtron光研究センター二階セミナー室	

9	2005/7/8	The 1st joint Seminar between Russian Research Center Kurchatov Institute and Saga University Synchrotron Light Application Center	http://www.slc.saga-u.ac.jp/	佐賀大学シンクロトン光応用研究センターならびに佐賀県立九州シンクロトン光研究センターの現状報告、ロシアクリャトフ研究所シンクロトン光センターの活動報告など	佐賀大学シンクロトン光応用研究センター	九州シンクロトン光研究センター二階セミナー室	
10	2005/7/19	全国共同利用施設 佐賀大学海洋エネルギー研究センター 2005年第1回海洋エネルギー研究開発フォーラム		"波力発電の技術開発の現状と未来"というタイトルで、この分野で日本の代表的な4名の専門家(学外3名、学内1名)による講演会を実施した。講演タイトルは、"波力発電装置の開発と現状"、"可動物体型波力発電"、"後曲げダクトブイの開発"、"波力発電用タービンの開発"。	佐賀大学海洋エネルギー研究センター	佐賀大学海洋エネルギー研究センター伊万里サテライト	45名
11	2005/8/20	日韓地衣類研究者合同の研究会	http://home.hiroshimau.ac.jp/lichen/taikai.htm	3平成17年8月20日、韓国齊州島にて、日韓合同の研究会を開催する。(地衣類研究会主催)	日本地衣類研究会	韓国齊州島KALホテル	25名
12	2005/9/16	第4回佐賀新生児聴覚スクリーニング研究会	なし	周産期医療関係者(産婦人科医、小児科医、助産師、看護師、保健師)と耳鼻科医、言語聴覚士を対象として、新生児聴覚検査のスクリーニング、難聴の診断および難聴療育についてのシンポジウムを開催した。	佐賀大学医学部耳鼻咽喉科、産婦人科、小児科	佐賀大学医学部臨床講堂	125名
13	2005/9/17	第一回アジア・アフリカ フォーラム	http://www.anes43-saga.med.saga-u.ac.jp/	『インド洋大津波 - いま麻酔科医にできること』と題し、2004年暮に発生した大津波によって甚大な被害をうけたスリランカ国から3名の医師を招き、復旧から復興の段階で、わが国の麻酔科医がいかなる後見ができるかについて一般市民の参加も交えて協議をおこなった。第43回九州麻酔科学会の特別企画として行った。	佐賀大学医学部麻酔・蘇生学	佐賀市民文化会館 中ホール	278名
14	2005/10/29	2005年度佐賀大学国際協働プロジェクトシンポジウム 中国経済の現状と課題～人民元切り上げ後の中国経済の行方を探る！～		人民元切り上げ後の中国経済の行方について、Hue Min上海復旦大学教授、Sun Jin中国社会科学院研究員、Xue Jun同院助理研究員、矢吹晋横浜市立大学名誉教授、井手啓二長崎大学教授を招き、4つの報告の後討論を行った。	佐賀大学国際協働プロジェクト	大学会館2階多目的ホール	75名

15	2005/10/30	電子情報通信学会九州支部平成17年度シンポジウム 「脳の不思議・生体の不思議 九州発 脳研究事情」	http://www.sens.ee.saga-u.ac.jp/ieiceq-sympo2005/	第1会場(講演会場)と第2会場(展示室)の2会場構成とした。講演会場では、招聘した講師4名(鹿児島大学教授の湯ノ口万友先生、九州工業大学教授の林初男先生、九州工業大学教授の森江隆先生、近畿大学教授の五反田博先生)による講演を午前と午後に分けて行った。サブタイトルで「九州発 脳研究事情」としているように、いずれも九州地区の大学に在職されている著名な研究者で、出身はエレクトロニクスであるが、「脳研究」という学際的な領域で御活躍されており、情報工学、集積回路工学、物理学、数理科学、医用生体工学、生理学、心理学などのように、異分野との関連知識も必要とされていることを、いくつかの事例を交えて御紹介いただいた。午後の部の冒頭、長谷川学長より挨拶があった。また講演の後には「総合討論」という時間帯を設けて、参加者が学内研究者と直接対話を交え、最先端研究の一端に触れる機会を持った。展示室では、おもに佐賀大学を中心とした関連研究分野の内容についての企画展示を行った。内容は、磁気浮上の制御実験やAIBO(アイボ)のデモンストレーション、ポスターを用いた研究紹介、インターネット体験コーナー、図書コーナー、質問ボード、ビデオ上映などである。	電子情報通信学会九州支部 協賛： ・佐賀大学学長経費「人工頭脳構築のための生体における情報処理様式の解明とその応用」(佐大 Brain2005プロジェクト) ・国立大学法人佐賀大学 その他、後援12団体	佐賀大学理工学部6号館(DC棟) 1階大講義室・2階多目的セミナー室	約100名
16	2005/11/29	第9回低平地市民フォーラム ～有明海の底棲生物と干潟再生の道をさぐる～	http://www.ilt.saga-u.ac.jp/	北九州市いのちのたび博物館館長・九州大学名誉教授の小野勇二氏、ならびに(独)港湾空港技術研究所理事・細川恭史氏を招き、第1部の特別講演を開催した。次に、前掲講演者を始め、佐賀県有明水産振興センター・野口敏春氏、西日本新聞社記者・稲田二郎氏、低平地研究センター長・林重徳教授をパネリストに迎え、荒木宏之教授によるコーディネートのもと、パネルディスカッションが行われた。会場からの活発な質疑応答も相次ぐなど、成功裏のフォーラムとなった。	低平地市民フォーラム実行委員会、佐賀大学低平地研究センター、ほか	佐賀県立美術館ホール	120名
17	2005/11/30	科学技術振興調整費重要解決型研究 「有明海湾奥部干潟域における底質環境の再生実証実験」 現地見学会	http://www.ilt.saga-u.ac.jp/	科学技術振興調整費による重要解決型研究「有明海湾奥部干潟域における底質環境の再生実証実験」に関する現地見学会を開催した。干潟公園ではシチメンソウを見学し、有明水産振興センターおよび七浦実験場では、最新の研究成果をふまえて、アゲマキやタイラギの養殖技術や底質改善実証実験に関する説明を行った。	佐賀大学低平地研究センター、低平地市民フォーラム実行委員会	干潟公園(東与賀町)、佐賀県有明水産振興センター(芦刈町)、七浦実験場(鹿島市)	30名
18	2006/1/18	一日技調 in さが	http://www.ilt.saga-u.ac.jp/	本講座は毎年九州各県で開催されており、今回で6回目となるものである。国土交通省九州地方整備局(九地整)下関港湾空港技術調査事務所長・吉田氏による開催挨拶に始まり、九地整における最新の技術開発の紹介がなされた。低平地研究センターからは、山西博幸助教授により、センターにおける有明海沿岸環境に関する調査研究の紹介がなされた。	国土交通省九州地方整備局、佐賀大学低平地研究センター、低平地研究会	佐賀大学本庄キャンパス 6号館DC棟2階多目的セミナー室	80名

19	2006/1/25	九州シンクロtron光施設竣工記念シンポジウム	http://www.slc.saga-u.ac.jp/	従来の材料プロセスは主として高温加熱に基づくものであるが、シンクロtron光を利用することにより励起原子分子を用いた新しい非平衡低温プロセス技術の開発が可能となる。この新技術に基づいて、優れた特性を持つ材料の開発が期待される。本シンポジウムは、光励起プロセスやイオンビームを用いた非平衡プロセスングによる新素材創製への試みや、ガラスに代表される非平衡材料の特異な物性、さらにこれらの産業応用に関する発表と討論の場としたい。これらの分野で活躍されている3名の方々の講演に加えて、大企業トップからの産学連携への思いをお聞かせ願う。	九州シンクロtron光研究センター新素材開発研究会	佐賀県立九州シンクロtron光研究センターセミナー室	
20	2006/1/29	2005年度佐賀大学国際協働プロジェクトシンポジウム 中国会計のグローバル化への取り組み～現状と課題～		中国会計のグローバル化への取り組みについて、田昆儒天津財經大学教授、王昱同志社大学講師の基調報告の後、水野一郎関西大学教授のコメントを受け、徳賀芳弘京都大学教授の司会のもとに討論を行った。	佐賀大学国際協働プロジェクト	菱の実会館1階多目的室	43名
21	2006/3/3	第5回産学官連携フォーラムin佐賀	http://www.tlo.saga-u.ac.jp/event/index.html	佐賀地域産学官連携推進協議会と共催で開催した。産学官連携推進に関する講演2件、佐賀大学からの「最近のエネルギー貯蔵デバイスと二次電池の動向」及び「高温高压溶媒による機能性物質の抽出」と題する事例発表のほか、ポスターセッションとして佐賀大学から6件のシーズ紹介があった。	佐賀大学TLO	佐賀I-スクエアビル5階	56名

22	2006/3/5	第2回人工頭脳工学シンポジウム	http://www.sens.ee.saga-u.ac.jp/brain2005/symposium.htm	<p>第1部は「佐賀大学の研究を知ろう」というテーマで、関連研究室所属の教員・学生による研究発表を中心に学内研究の報告をした。午前中は口頭発表形式を採用し、1人が15分程度という持ち時間で研究発表を行い、若干の質疑応答を行った。また夕方にはポスター発表も行った。</p> <p>第2部は「この研究分野の動向を知ろう」というテーマで、著名な研究者2名(慶応義塾大学教授の萩原将文先生、京都大学教授の乾敏郎先生)の特別講演を行った。午後で開催した特別講演の冒頭、西河貞捷理事より挨拶があった。</p> <p>これに引き続いて行われた第3部では、「この研究分野の最前線を知ろう」というテーマで学外からの一般投稿についてポスター発表を行った。</p> <p>また、これと並行して同一会場で行われた第4部では、「この研究分野を支える企業の技術力」というテーマで企業展示を行い、大学発のベンチャー企業や医療機器メーカーの最新機器の周りには多くの参加者が集まっていた。</p>	<p>・佐賀大学学長経費「人工頭脳構築のための生体における情報処理様式の解明とその応用」(佐大Brain2005プロジェクト)</p> <p>・国立大学法人佐賀大学</p> <p>その他、共催7、協賛9、後援12</p>	佐賀大学理工学部6号館(DC棟) 1階大講義室・2階多目的セミナー室	約100名
23	2006/3/7	九州シンクロトン光利用開始記念講演会	http://www.slc.saga-u.ac.jp/	<p>佐賀県立九州シンクロトン光研究センターは、2005年12月15日に施設検査(1.4GeV, 100mA)に合格し、2006年2月17日には待望の利用開始のオープンセレモニーが盛大に開催されました。</p> <p>そこで、永年待ち望んだ九州初のシンクロトン光の利用開始を記念して、いままでシンクロトン光計画にご尽力されて来られた先生方を講師とした利用開始記念講演会を開催することに致しました。シンクロトン光計画に込められた夢や計画推進の歴史的経緯、九州シンクロトン光研究センターの現状、大学間連携の役割など、貴重なお話を直接お聞きできるものと期待しています。</p>	佐賀大学シンクロトン光 応用研究センター	九州シンクロトン光研究センター二階セミナー室	
25	2006/3/8	日本・台湾科学技術交流シンポジウム「バイオテクノロジーの園芸への応用」		<p>日本(佐賀大学、山口大学、宮崎大学、静岡大学)と台湾(中興大学、台湾大学、朝陽科技大學)の研究者がバイオテクノロジーを園芸へ実際に応用した研究の成果を報告し、効果的でグローバルな応用に向けた議論を行い、この分野の更なる発展を展望した。</p>	佐賀大学・山口大学・中興大学(台湾)・(財)交流協会	佐賀大学農学部大会議室(口頭発表)及び同棟リフレッシュスペース(ポスター発表)	60名
26	2006/3/27	日台学生シンポジウム「多様化社会の課題」	http://extwww.cc.saga-u.ac.jp/~kitagake/osirase.htm	<p>佐賀大学、久留米大学、淑徳大学、九州看護福祉大学の4大学が台湾、輔仁大学において行われた、輔仁大学・佐賀大学共催の標記国際シンポジウムに参加した。主として、多様化社会における社会福祉の動向・課題を中心に、研究報告、討議を行った。</p>	輔仁大学(台湾)	輔仁大学(台湾)	80名

27	2006/3/30	第3回日台学生シンポジウム	http://extwww.cc.saga-u.ac.jp/~kitagake/osirase.htm	日本側は、佐賀大学、久留米大学、九州看護福祉大学の3大学、台湾側は、国立台北大学、国立政治大学、輔仁大学の3大学の大学院生を中心として行われた。同国際学生シンポジウムでは、アジアの多様化社会における諸課題を中心に、研究報告、討議が行われた。	国立台北大学(台湾)	国立台北大学(台湾)	120名
28	2005/03/16・17	情報処理学会「コンピュータセキュリティ(CSEC)」研究会 情報処理学会「マルチメディア通信と分散処理(DPS)」研究会 合同研究会		コンピュータセキュリティおよびマルチメディアと分散処理に関する研究会を開催した。研究会では59件の研究発表がおこなわれ、100名を越す参加者の間で、活発な議論が展開された。また、警察庁情報通信局情報技術解析課サイバーテロ対策技術室長 羽室 英太郎氏による招待講演が行われた。	情報処理学会	佐賀大学工学部6号館 佐賀大学工学部7号館	103名
29	2005/11/20-21	International Symposium on Synchrotron Light Application in advanced Materials	http://www.slc.saga-u.ac.jp/	シンクロトロン光応用のための放射光利用講義、上海交通大学複合材料研究所の研究活動、佐賀大学シンクロトロン光応用研究センターの現状、超高速時間分解光電子分光実験報告など	佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター	Guilin, China	
30	2005/9/20 ~ 2005/9/23	INTERCOH 2005 (第8回粘着性堆積物の輸送に関する国際会議)	http://www.ilt.saga-u.ac.jp/	日本を含む16カ国から122名(海外:47名、国内:75名)の参加者を得、当該会議を開催した。オランダ・デルフト工科大 Winterwerp博士(実行委員長)による特別セッション講演を皮切りに、低平地研究センターからは林重徳教授が特別セッションに臨んだ。当該会議に提出された論文集は再査読の上、Elsevierからの出版が決定された。山西博幸助教授が編集者の1人に選ばれ、その任にあっている。	INTERCOH 2005実行委員会、 佐賀大学低平地研究センター、 ほか	佐賀大学本庄キャンパス 6号館DC棟	123名
31	2005年度中	低平地研究会地盤専門部会 低平地研究会水専門部会 低平地研究会地域デザイン専門部会	http://www.ilt.saga-u.ac.jp/	地盤専門部会、水専門部会、地域デザイン専門部会の部会長はそれぞれ、日野剛徳講師(低平地研究センター)、山西博幸助教授(低平地研究センター)、三島信雄助教授(都市工学科)が務めており、17年度中に随時・随所で各部会活動を展開した。	低平地研究会、 佐賀大学低平地研究センター、 佐賀大学工学部都市工学科	佐賀大学を始めとする 随所で実施	毎回・各部会20 ~30名 程度
32	2006/3/21-22	日本生態人類学会	http://www.soc.nii.ac.jp/ecoanth/index.html	自然とのかかわりの中で人間を全体として理解すること、を基本的テーマとする生態人類学の第11回全国大会を、佐賀大学農学部・稲岡教授を大会長として、佐賀県武雄市にて開催した。	日本生態人類学会	武雄温泉(武雄温泉ハイツ)	100名